

表紙, 目次, 雑報

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38114

大正四年六月一日發行

十全會雜誌

卷十二第
號六第
(號三十百第)

全澤醫學專門學校十全會

十全會雜誌 (第二十卷第六號) 第百十三號 目次

○原著及實驗

● 鬱癰病者謀殺未遂ノ鑑定例。

松原三郎
石川精一

○雜報

● 第七回陸上運動會。

● 圖書月報。(其十三)

醫三橋本學

○叙任及辭令

● 金澤醫學專門學校。● 文部省。● 內閣。● 石川縣。

○人事

● 伊野宮長民氏。● 轉居。● 入會。● 居所不明。

○會告

● 校外特別會員會費納付調書。● 創立二十五年紀念館寄附金第拾回報告。

○廣告

● 佐々木教授在職紀念品贈呈釀金第一回報告。



雜報

●第七回陸上運動會

五月十三日、市内小立野下鶴間町金澤醫學專門學校々庭に於て行はれた。實は十一日本校紀念日一殊に今年は二十五年祝賀紀念日に當つてゐるので全生徒試験後の少なき日を用意に勵んだ一に行ふ筈であつたが雨に降られて順延遂に此の日に及んだのであつた。此の日も雖も怪しい天氣であつた。がっかりしたのは生徒のみでなく全市中の人も亦。が天氣豫報は「晴れ」係りの人も午後より晴れると診斷、豫後をつけて雨の中に號砲を「ドーン」三發。又全市人突飛な事をするを驚いた。雨が降つて來るがポツ／＼集まる生徒用意に忙がしい市中には色々の掲示の花自働車で廣告。八、九時未だ晴れる模様なし誰も客なし、悲觀此上ないが無茶にならず烽火の音に北西の空は晴れて來た。さて人が集まる。十一時頃には上天氣。「第一回競技者集まれ」と、ラツパの中から聲がする。競技場、各級接待館の裝飾、擬滿纏飾花門の華麗此上もない「用意ドン」パチ／＼と喝采プカ／＼の樂隊第一回は一週競走である、周圍の人垣益々厚く競技進みて益々興に入り走る人の一生懸命。見る人の熱心。越した越さした、喝采、決勝点に至る、得意顔に反身になつて會長の前賞品を貰つてホク／＼。第八回競技後三十分休憩、イヨ／＼小立野街に於ては受験生主催の大懸賞人探がし正午より二時までだ。眞變裝者三人偽變裝者二十餘人。新聞切り抜き片手に穴のあく程人の顔を覗いて歩く人々引つ立て、校中中立館に至り駄目と云はれて頭を掻き、一等繪箱單笥といふ、校庭に於ては三年生主催の寶探し、一等か

ら五等まで。探がす連中競技には少しもオカマイなし。運動場を一週する。先三年生の醫三館二年生の杏林亭四年生の醫四館一菓子、コーロ、夏味柑、汁粉の券と引き換へ。お茶の接待手落をなし藥學生の藥學館にては香水齒みがき粉殊にコーザは劍舞などの餘興あり

競技進む中最も興を以て迎へられる餘興二年生のいろは職業行列一らうし。がへ、車夫の如きは眞物同様、終に競走をはじめ百鬼畫行の狂態、車夫も奥様も尻を捲くつて一散驅け一時間程を経て三年級の幼稚園行列、樂隊先頭に進むは少年と見たは間遠ひ、矢張り三年生徒だ、四つ身の着物に跨は膝まで、日の丸と風船玉とが「モシ／＼カメヨ」を始めた。

次で四年級の逆行行列、車夫が車に乗り旦那が挽くといふ有様、遂に「ダンス」を始め終には又百鬼畫行を演ず。この中に一四人あり、此の身長を問ふといふ懸賞あり

競技正に、三十回各縣立學校選手競走に至り

第一着 一中 金内 君 第二着 小松 比良 君

第三着 二中 倉重 君

第三十二回四高各部選手競走

第一着 三部 小林 君 第二着 三部 平尾 君

第三着 一部 佐藤 君

第三十六回本校各級選手競走

第一着 二年 淺井 君 第二着 三年 山崎 君

第三着 二年 今田 君

生徒も、一般市民も待ちわびてゐた運動會も終つたのだ。草臥た生徒面白かつた觀覽人ごちらも遺憾なく此日を終へて退場す、日は西山に没し生徒は皆二十五年祝賀提灯行列に忙きたり。

●圖書月報 (其十三)

醫三橋本學

▲最近に於ける寄贈者芳名及び寄贈書籍名を列れて以て其御厚志を深謝し併而永く本館の備品たらしめん事を期す。

▲出血性紫斑病の治驗(業績) 一部 近藤清 吾殿

▲組織學汎論 一部 教授博士 鈴木文太郎殿

▲新纂外科各論第一卷(第八版) 二部 教授博士 下平用 彩殿

▲前報告後の購入書目如左。

▲治療全書 卷四 一部

▲福原傳染病及血清學總論 一部

▲自大正四年四月一日至全年五月七日閱覽總員三百六十八名也

内 譯

贊助 特別 醫四 醫三 酪二 醫一

四 月 六 一六 一一四 一〇七 四一 五五

五月上旬 三 八 三 一一 三 一

▲五月八日より十四日迄運動會の爲め臨時休館せり。而して二十日より新學年開始につき五月の閱覽人員統計は上旬の分のみを掲げたり。

▲新緑の装今や全く成りし五月、來れり新學年は。亦勵まざるべからざる也。則ち出でて運動、入りて讀書。而してポプラーの新装を窓前に眺め得る圖書に書籍雜誌を讀るも亦快ならずや。茲に祈る、幸に讀書子の居常健在元氣旺盛ならん事を。

▲最後に雜誌部諸賢の御助力を感謝し、就中先般來徴恙に際するの時、南兵太郎及紺田彌助の二學兄本室に關する事務を執られたるを肝腑に銘じて忘れざらんをす。

(大正四年五月十九日)

叙任及辭令

●金澤醫學專門學校

五月七日

金澤醫學專門學校醫學士 鈴木正十郎

醫學及化學副手ヲ囑託ス

月手當金五圓給與

●文部省

五月十九日

金澤醫學專門學校教授 上田計二

三級俸下賜

●内閣

五月十九日

任金澤醫學專門學校教授

兒玉豐次郎

叙高等官六等 七級俸下賜

金澤醫學專門學校教授 上田計二

依願免本官

●石川縣

五月三日

金澤病院醫員ヲ命ス 十二級俸給與

(小兒科部勤務)

長 廻 善 吉 (大三)

醫員 加 勢 基 (大元)

十一級俸給與

(以上辭令四月三十日附)

人 事

●伊野宮長民氏(明三五) 氏は長々病氣中の處去る四月十七日逝去せられたり謹て哀悼の意を表す。

● 轉 居

秋田市檜山本新町下町十番地
朝鮮大邸大邸衛戍病院
福井縣南條郡武生町三七
北海道小樽區花園町一四
三重縣飯南郡神戸村垣鼻
石川縣江沼郡大聖寺町郡立病院
樺太大泊本町大通南四丁目五

石橋 四郎
藤 波 謙
鳥飼 尹重
本 仙太郎
志村 猪藏
北村 誠吾
丸谷 定雄 (大元)

● 入 會

新潟市竹山病院
埼玉縣北葛飾郡富多村大字立野
金澤市上石引町牛塚醫院内
東京市麴町區胃腸病院内
福岡縣石原町

丸山 浩平 (大元)
大 瀧 經 (大二)
竹重 信次 (大三)
深津 忠義 (大三)
宮崎 繁 (明四三)

● 受 驗 生

子安 頼義 藺 悌次郎 中條隆之助 松田 外次郎
川久保 俊一 大谷 顯治 大前 俊次 鈴木 信夫
湯淺 富三郎 高橋 甚一 岡本 規久男 長 外臺男
今越 理作 林 謹一 直下 誠 飛見 丈繁

● 居 所 不 明

東京市本郷區根津須賀町一八 端谷 豐吉
紀伊國深山重砲兵第三聯隊 水上 俊三
福岡縣遠賀郡香月村字楠三六二〇 松尾 整
佐倉步兵第五十九聯隊 佐々木 靜
東京府下渋谷町字中渋谷九六 白田 重良
東京市淺草區小島町樂山堂病院 服部 鴨助
歩兵第六十聯隊 宮崎 稻作
姫路歩兵第十聯隊 金田 友三郎
福岡縣片良郡入部村大字東入部一二三七 綾部 讓

會 告

●自大正四年四月廿六日校外特別會員會費納付調書
至全 五月二十日迄

金額	期 限	氏 名
一金參圓也	自大正四年度三ヶ年分	子 安 賴 義殿
一金參圓也	至大正六年度	蘭 悌 次 郎殿
全		中 條 隆 之 助殿
一金參圓也	全	松 田 外 次 郎殿
全		湯 淺 富 三 郎殿
一金參圓也	全	林 謙 一 殿
全		高 橋 甚 一 殿
全		岡 本 規 矩 男殿
全		長 外 喜 男殿
全		今 越 理 作殿
全	自大正三年度分	丸 山 浩 平殿
全		竹 重 信 次殿
全	自大正四年度三ヶ年分	山 田 孝 太 郎殿
全	自大正六年度	宮 崎 繁殿

一金參圓也	自大正四年度三ヶ年分	飛 見 丈 繁殿
一金貳圓也	自大正三年度	大 瀧 經殿
全	自大正四年度二ヶ年分	

●創立二十五年記念館寄附金第拾回報告

(五月二十日迄ノ分) ○印シノモノハ現金領收濟ノ分)

金額	氏 名	金額	氏 名
一金參圓也	長 廻 善 吉殿	一金參圓也	中 西 島 吉殿
一金五圓也	高 松 岩 吉殿	一金參圓也	○武 內 清 作殿
一金參圓也	關 口 通 太 郎殿	一金參圓也	○北 村 誠 吾殿
一金參圓也	植 西 武 彦殿	一金參圓也	○名 取 博 三殿
一金五圓也	澤 賢 吉殿	一金參圓也	山 岸 勸 吉殿
一金貳圓也	藤 井 最 正殿	一金參圓也	勝 部 方 策殿
一金五圓也	○堀 米 次 郎殿	一金五圓也	○渡 孚 貞殿
一金五圓也	○蚊 野 才 三 郎殿	一金參圓也	○高 澤 甚 作殿
一金五圓也	○田 上 清 貞殿	一金五圓也	○高 田 範 國殿
一金五圓也	○野 村 亮 吉殿	一金五圓也	○大 瀧 經殿
一金五圓也	○久 保 武殿	一金參圓也	○丸 山 浩 平殿
一金五圓也	○北 野 恒 夫殿	一金五圓也	○近 郷 重 孝殿
一金五圓也	○志 賀 以 寛殿	一金參圓也	○角 田 耕 六殿
一金五圓也	○高 木 安 治殿	一金參圓也	○高 田 弘 信殿
一金參圓也	○中 川 喜 平殿	一金五圓也	○長 澤 安 弘殿
一金參圓也	○宇 賀 治 元 造殿	一金五圓也	○眞 澤 貞 一殿
一金五圓也	○福 田 美 明殿	一金五圓也	○坂 井 茂殿

一 金壹圓也	戶谷 慈一殿	一 金壹圓也	山田 幸治殿	一 金貳圓也	牛塚 榮太郎殿	一 金壹圓也	遠山 繁殿
一 金壹圓也	岡田 甚英殿	一 金壹圓也	桑折 直殿	一 金壹圓也	淺井 泰殿	一 金壹圓也	清水 秀夫殿
一 金壹圓也	鈴木 瀨殿	一 金貳圓也	田代 保二殿	一 金壹圓也	朝倉 重敏殿	一 金壹圓也	伊藤 芳廣殿
一 金壹圓五拾錢	×熊澤 清隆殿	一 金壹圓也	榊原 久殿	一 金五圓也	今井 篤殿	一 金壹圓也	野島 利一殿
一 金壹圓也	小島 佐藏殿	一 金壹圓也	丸山 六郎殿	一 金壹圓也	駒田 作之進殿	一 金貳圓也	石森 國臣殿
一 金壹圓也	猪木 彦助殿	一 金壹圓也	原田 正廣殿	一 金壹圓也	松田 龜太郎殿	一 金壹圓也	×成相 象次郎殿
一 金壹圓也	佐藤 助次郎殿	一 金壹圓也	重田 稔殿	一 金貳圓也	丸山 直友殿	一 金貳圓也	深町 正道殿
一 金壹圓五拾錢	內藤 三太郎殿	一 金壹圓也	天野 長重殿	一 金壹圓也	×佐竹 清吉殿	一 金壹圓也	×渡部 宗一郎殿
一 金壹圓也	笠岡 芳名殿	一 金壹圓也	×若林 篤之殿	一 金壹圓也	小西 俊三殿	一 金壹圓也	×中川 真忠殿
一 金壹圓也	熊西 中茂殿	一 金壹圓也	齋藤 義雄殿	一 金壹圓也	林 豐丈殿	一 金壹圓也	中島 誠殿
一 金壹圓也	×岩 佐兵藏殿	一 金壹圓也	並河 正雄殿	一 金壹圓也	×岡島 敬治殿	一 金壹圓也	×館 昇榮殿
一 金壹圓也	黑田 道純殿	一 金壹圓也	田中 信一殿	一 金壹圓也	中川 喜平殿	一 金貳圓也	諸角 友平殿
一 金貳圓也	德久 恒治殿	一 金貳圓也	松田 研吉殿	一 金壹圓也	×中原 重吉殿	一 金壹圓也	新 次郎吉殿
一 金壹圓也	大口 富治殿	一 金壹圓也	加藤 健之助殿	一 金壹圓也	藤井 最正殿	一 金壹圓也	野村 敏殿
一 金壹圓也	中野 才幸殿	一 金壹圓也	和田 政範殿	一 金壹圓也	宮城 篤珍殿	一 金壹圓也	竹松 衛殿
一 金壹圓也	吉村 一馬殿	一 金貳圓也	×野村 亮吉殿	一 金壹圓也	加藤 敏作殿	一 金壹圓也	吉尾 開道殿
一 金貳圓也	生沼 曹六殿	一 金貳圓也	小林 真二殿	一 金壹圓也	兩森 良順殿	一 金壹圓也	岡田 剛平殿
一 金壹圓也	白木 孝一殿	一 金貳圓也	富田 敦實殿	一 金壹圓也	加茂 智榮殿	一 金壹圓也	高田 範國殿
一 金壹圓也	眞澤 貞一殿	一 金壹圓也	富田 直殿	一 金壹圓也	田口 泰殿	一 金壹圓也	原 伊之殿
一 金壹圓也	庄司 正部殿	一 金壹圓也	河崎 有作殿	一 金壹圓也	鎌田 勘之助殿	一 金壹圓也	土井 榮幸殿
一 金壹圓也	源 監藤吉殿	一 金壹圓也	森田 齊次殿	一 金壹圓也	太田 長作殿	一 金壹圓也	賀川 見龍殿
一 金貳圓也	轟 茂殿	一 金壹圓也	高田 文齊殿	一 金貳圓也	久保 勝次殿	一 金壹圓也	柳原 茂樹殿
一 金壹圓也	酒井 政告殿	一 金貳圓也	渡 孚貞殿	一 金壹圓也	×大中 貞次郎殿	一 金參圓也	影山 清美殿
一 金壹圓也	村田 秀三殿	一 金壹圓也	中島 隆吉殿	一 金壹圓也	中谷 内善雅殿	一 金貳圓也	山角 彙安殿
一 金壹圓也	長田 八三郎殿	一 金壹圓也	丹羽 亥純殿	一 金壹圓也	平野 郷次郎殿	一 金壹圓也	鈴木 於菟吉殿
一 金壹圓也	小野澤 庄桂殿	一 金壹圓也	富田 寬殿	一 金壹圓也	太田 卯三郎殿	一 金壹圓也	林 可一殿